

平成23年 県政の軌跡

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	2
III 新しい県政の運営方法の導入	2
IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山	
1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり	3
2. 明るく元気な社会づくり	3
V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山	
1. 少子化対策の充実	6
2. 福祉の充実	6
3. 健康わかやまの実現	6
VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山	
1. 商工業の振興	8
2. 農林水産業の振興	11
VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山	
1. 観光の振興	15
2. 誇れる郷土づくり	16
3. 環境・自然の保全	17
VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山	
1. 防災・減災社会の実現	18
2. 暮らしの安全・安心	19
IX にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山	
1. 交通ネットワークの充実	20
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	21

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	就任1年目 (H18.12.19～H19.11.30)		就任2年目 (H19.12.1～H20.11.30)		就任3年目 (H20.12.1～H21.11.30)		就任4年目 (H21.12.1～H22.11.30)		就任5年目 (H22.12.1～H23.11.30)	
○県内から県庁を訪問して下さったお客様	223	グループ	206	グループ	194	グループ	237	グループ	291	グループ (義援金44グループ)
○県外から県庁を訪問して下さったお客様	112	グループ	81	グループ	198	グループ	78	グループ	93	グループ (義援金15グループ)
・国機関関係	35	グループ	24	グループ	28	グループ	14	グループ	26	グループ
・外国関係	18	グループ	7	グループ	16	グループ	11	グループ	17	グループ
○式典・大会出席挨拶	227	回	274	回	312	回	357	回	266	回
○講演・シンポジウム	20	回	18	回	22	回	54	回	30	回
○県内各地への出張回数	79	回	103	回	89	回	133	回	126	回
○県外各地への出張回数	66	回	78	回	68	回	51	回	69	回
・東京	24	回	32	回	26	回	20	回	28	回
・大阪	31	回	28	回	22	回	14	回	24	回
・他府県(東京、大阪を除く)	10	回	17	回	18	回	17	回	17	回
・外国	1	回	1	回	2	回	2	回	2	回
		(中国)		(スペイン)		(イタリア・フランス、ブラジル・ペルー)		(トルコ・中国)		(中国・アメリカ)
○公用車の走行距離	23,889	Km	23,104	Km	23,773	Km	25,344	Km	25,373	Km
○県内各界要人との懇談	24	回	33	回	26	回	35	回	28	回
○県内企業訪問	15	回	27	回	17	回	4	回	5	回
○国の要人との政策議論・要望	32	項目	51	項目	60	項目	30	項目	45	項目
	75	回	66	回	62	回	31	回	89	回
○企業首脳トップセールス	41	回	60	回	32	回	25	回	38	回

Ⅱ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

○ 公共調達制度改革

実情に応じて新公共調達制度の見直しを実施

- ・ 総合評価方式の「技術者の成績」等の評価を見直し、受注のない企業にも受注機会を確保するため「新規参入特例」を1年間に限り試行(4月～)
- ・ 舗装工事の地域要件を県内一円から紀北・紀南の2ブロックに(4月～)
- ・ 建設工事に係る「最低制限価格」・「調査基準価格」の算定式を見直し、ランダム係数の発生範囲を拡大(7月～)
- ・ 建設工事に係る委託業務(設計・調査・測量)の「最低制限価格」の算定式を見直し(8月～)

Ⅲ 新しい県政の運営方法の導入

○ 知事が直接県民の皆様と意見交換する「和歌山県行政報告会」を開催 (平成23年実績:18回)

○ 県庁組織改革・人事異動(4月～)

- ・ 職員定数を60人削減
- ・ 近隣府県との交流を推進 2府県4名
- ・ 民間等との交流を推進 5団体5名
- ・ 中央省庁等への派遣を推進 1府7省4庁3団体及び山東省に20名
- ・ 県と県内市町村との人事交流を推進 8市町16名
- ・ 大学院等への研修派遣を推進 3名

IV 未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山

1. 元気な和歌山の未来を拓く人づくり

- 平成24年度からの「国際人育成プロジェクト」実施に向けて教員研修を実施し、教材を作成

- 「親と子どものためのきらめき”夢”トーク」を開催(平成20年度～)
 - 2月 新妻義輔(帝塚山学院大学人間文化学部教授) 御坊市
 - 6月 宮本勝治(関西大学大学院会計研究科教授) 新宮市
 - 8月 武田美保(五輪シンクロナイズドスイミング メダリスト) 和歌山市
 - 10月 河野昭一(京都大学名誉教授) 和歌山市
 - 12月 橋本正次(東京歯科大学法人類学研究室教授) 御坊市
 - 12月 小野直路(NHK副会長) 和歌山市

- 教育副読本として平成22年に作成した「わかやま何でも帳」を、より多くの方々に読んでもらえるよう、民間の力を活用して出版(7月)

- きのくにロボットフェスティバル2011開催(12月)

- 青少年自身がリーダーとなって地域の青少年を育成する循環システムを構築するための「リレー式次世代健全育成事業」を継続実施

2. 明るく元気な社会づくり

① 文化芸術の振興

- 文化・芸術・学術・スポーツ等に係る国際大会から草の根レベルまで様々な取組を一元的に支援する制度を創設

② スポーツの振興

○ 第70回国民体育大会(平成27年)開催準備

- ・ マスコットデザインを決定(6月)し、全国公募により愛称を「きいちゃん」に決定し、発表(11月)
- ・ 和歌山ニット工業組合青年部、和歌山県衣料縫製品工業組合青年部と連携し、募金付国体PRポロシャツを製作(7月)
- ・ 「公開競技」「デモンストレーションスポーツ(第1次選定)」の実施競技(行事)及び会場市町村を選定(6月)
- ・ きのくにスポーツフェスティバル2011 和歌山県民スポーツコンベンション開催(11月)
- ・ 秋葉山公園県民水泳場の建て替えに着手(2月)
- ・ 紀三井寺公園球技場・補助競技場の改修工事が完成(11月)
- ・ 武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ完成(11月)

○ 県立医科大学みらい医療推進センターげんき開発研究所を拠点に、トップアスリート育成に向けた医・科学事業を展開

○ 和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

108名のゴールデンキッズを育成中

○ 中高等学校の運動部を強化拠点として指定

中学校で43校96運動部、高等学校で28校76運動部

○ 市町村立小学校の屋外運動場の芝生化を促進(平成20年度～)

新規に5校が実施し、計24校に

③ 国際交流の推進

○ 国際和歌山県人会を開催(5月)

○ 中国との交流

- ・ 山東省・遼寧省を訪問(8月)

○ アメリカとの交流

- ・ 南加和歌山県人会100周年記念式典に出席(11月)
- ・ 友好提携先であるフロリダ州を訪問し、フロリダ州との経済関係活性化に向けた「オレンジパートナーシップ協定」を締結(11月)

○ ブルネイ王国との交流

- ・ 県内の青年13名を派遣し、現地の青年と交流(8月)

④ 人権尊重社会の実現

○ 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結 48団体 計213団体

○ 幼児を対象に「人権感覚を育てようプログラム」を作成

V 生涯現役で誰もが活躍できる和歌山

1. 少子化対策の充実

- 不妊治療費助成対象を拡充(4月)
- 若者の出会いを応援するサイトと県内の子育て情報を掲載した子育て応援サイトを新規に開設(12月)

2. 福祉の充実

- 子どもの安全確認強化のため児童相談所の体制を強化
- 高齢者等への助け合い活動を促進するため、住民グループ等による活動の立ち上げを支援
- 要介護者及び家族介護者の安心を確保するため、地域における緊密な医療と介護のネットワークづくりを支援
- 中高生・青年期の発達障害児者を対象に、社会生活への適応訓練などを実施する「地域発達障害サポートプログラム」事業を開始

3. 健康わかやまの実現

- 小児細菌性髄膜炎等の予防接種を支援
- 地域医療支援センターを県立医科大学に設置
- 県立医科大学附属病院及び日本赤十字社和歌山医療センターを高度救命救急センターに指定(4月)

- 日本赤十字社和歌山医療センターを第一種及び第二種感染症指定医療機関に指定(10月)

- 運動習慣を身につけるために「紀の国わかやま1万人健康リレーウォーク」を開催(10月～)

- 県と県立医科大学が連携し、地域医療の充実に向けた検討・調整を行う協議会を設置(4月)

VI 国際競争力のあるたくましい産業を育む和歌山

1. 商工業の振興

- 企業立地の促進
 - ・ 平成23年1月以降新たに17社の企業立地が決定(詳細別紙)

- 企画・提案型のビジネスモデルを目指す産地企業の取り組みを、企画段階から販売促進まで3年間一貫して支援する「わかやま地場産業ブランド力強化支援事業」を創設
 - ・ 7企業、2グループを採択

- 先端的な技術開発・実用化への支援を行う「先駆的産業技術研究開発支援事業」の採択枠を拡大
 - ・ 採択実績:平成22年度 7社(1億円)→平成23年度 11社(2億円)

- わかやま産業振興財団の技術情報に係る基礎的調査支援機能を強化

- 「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2011」を策定(4月)

- 首都圏での販路開拓を推進したい県内中小企業を支援するため、活動拠点となる「わかやまビジネスサポートセンター」を開所(7月)

- 和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の推進
 - ・ 第1回プレミア和歌山推奨分の認定を更新し、審査委員特別賞を決定(3月)
 - ・ 首都圏でプレミア和歌山カフェを開催(9月～)

○ 見本市等に出展

- ・ エレクトロニクス製造・実装に関するアジア最大の展示商談会「インターネッコン・ジャパン」(東京)に出展(1月)
- ・ 東京レザーフェアに出展(1月、6月、12月)
- ・ ニューヨーク国際ギフトフェアに出展(1月、8月)
- ・ 世界最大規模の消費財見本市アンビエンテ(ドイツ・フランクフルト)に出展(2月)
- ・ 機械要素技術展(東京)に出展(6月)
- ・ アジア最大級の皮革見本市「オールチャイナレザーエキシビション」(上海)に出展(9月)
- ・ 国内最大のパーソナルギフトと生活雑貨の見本市「東京インターナショナルギフトショー」に出展(9月)
- ・ アジア有数のテキスタイル見本市「インターstoff・エッセンシャル・アジア」(香港)に出展(10月)
- ・ 繊維国際見本市「ジャパン・ファッション・ウィーク・ジャパン・クリエーション」(東京)に出展(10月)

○ 商談会の開催

- ・ 和歌山新技術・新工法提案商談会in大和ハウス工業(株)を開催(2月)
- ・ トルコ共和国へミッション団を派遣(7月)
- ・ 中国山東省で企業商談会を開催(8月)
- ・ 大阪ガス(株)との技術マッチング会を開催(10月)

○ 中小企業向け県融資制度の見直しを行い、中小企業者の資金繰りを支援

- ・ 経営支援資金(緊急支援枠)・資金繰り安定資金(緊急支援枠)を新設(4月)
- ・ 「前向き資金」(成長サポート資金)を拡充(4月)
- ・ 東日本大震災によって間接的な被害を受けた県内中小企業者に対する新たな県融資制度を創設(5月)
- ・ 台風12号によって、直接・間接の被害を受けている県内中小企業者に対する新たな県融資制度「災害復旧対策資金」を創設(10月)

○ 和歌山県100年企業を表彰(11月)

○ 台風12号により被災した事業者の事業再開を支援する「地域企業等事業再開支援事業」を創設(12月)

○「ふるさと雇用再生特別基金活用事業」及び「緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業」を実施

平成23年度事業計画(11月末現在)

ふるさと雇用

県	91事業	1,527百万円	387人雇用
市町村	86事業	865百万円	222人雇用

緊急雇用

県	95事業	2,216百万円	1,263人雇用
市町村	337事業	1,894百万円	1,751人雇用

2. 農林水産業の振興

① 農業・水産業

- 「和歌山で農業しませんか」プロジェクトを実施
農業法人等での雇用総数:6経営体に9人
農家での雇用総数:42農家、44人（いずれも11月末現在）

- 紀の川市で高病原性鳥インフルエンザが発生し、防疫措置を実施(2月)

- 第60回全国農業コンクール全国大会を開催(7月)

- 「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2011」を策定(4月)

- 県産品のトップセールスを実施
 - ・ 梅(東京・大田市場)(6月)
 - ・ 桃(大阪市中心卸売市場)(7月)
 - ・ 中国山東省・遼寧省で梅酒、酢、醤油の商談会を開催(8月)
 - ・ 米国ロサンゼルスで物産展開催、フロリダ州で梅酒、醤油のPR(11月)
 - ・ 首都圏JR恵比寿駅前のみかん、柿、梅干し等の県産品をPRする「ココ・カラ。わかやま首都圏キャンペーン」を開催(11月)

- 商談会を開催
 - ・ わかやま産品商談会in大阪を開催し、318人のバイヤーが来場(2月)
 - ・ 和歌山県産品商談会IN香港を開催(12月)

- 国内見本市等に出展
 - ・ 「ふるさと祭り東京2011」に出展し、県産品を販売するとともに、プレミアム和歌山紹介コーナーも設置(1月)
 - ・ ジャパンインターナショナルシーフードショー大阪に出展(2月)
 - ・ スーパーマーケット・トレードショー2011に出展(2月)
 - ・ FOOD EX JAPAN 2011に出展(3月)

- 百貨店等で和歌山フェア開催
 - ・ 伊勢丹新宿店(1月)
 - ・ 大丸梅田店(5月)
 - ・ ママズプレート(東京)、高島屋大阪店、三越名古屋栄店(6月)
 - ・ スーパーアピタ(名古屋市等)(6月、11月)
 - ・ 日本橋高島屋(東京)(10月)
 - ・ 紀ノ国屋7店舗(東京)、さいか屋横須賀店(11月)

- 国際食品見本市等に出展
 - ・ アヌーガ2011(ドイツ)(10月)
 - ・ Tasete of Japan(シンガポール)(10月)
 - ・ 上海国際漁業博覧会(12月)

- 海外百貨店等で和歌山フェア開催
 - ・ マレーシア(伊勢丹)
 - ・ 台湾(シティースーパー復興店他)
 - ・ 中国・上海(久光)
 - ・ シンガポール(伊勢丹、高島屋)
 - ・ タイ(伊勢丹)
 - ・ 香港(YATA一田)
 - ・ 米国(マルカイスーパー)

- 海外量販店等でプロモーション実施
 - ・ マレーシア、台湾、シンガポール、香港、タイ

- 食品メーカー等との協働
 - ・ サントリービア&スピリッツ(株)と県、生産者団体等が、県内外で県産食材のPRや販路拡大に取り組むことで合意(7月)

- ANA国際線ファーストクラス、空港内ファーストクラス・ビジネスクラスラウンジで県産品を使用したメニューを提供(6~8月、9~11月)

- 関空発トルコ航空イスタンブール路線に県産品採用(9月)

- 「和歌山なんだから、みかんをもっと食べようキャンペーン」を実施(10月～)

- 和歌山県育成イチゴ新品種「和C19」が品種登録(10月)

- わかやま農産物安心プラス事業を推進
平成23年度認証 13団体、24品目(果樹10、野菜13、米1)

- 果樹産地ごとの課題に応じた生産対策をハード事業・ソフト事業で総合的に支援する「果樹産地再生緊急対策事業」を開始
平成23年度実施 13箇所

- 業務用野菜の産地化を推進するため、4JAを支援

- 有害鳥獣対策
 - ・ 鳥獣被害対策本部を設置(2月)
 - ・ 有害鳥獣捕獲助成を拡充
 - ・ ニホンジカの管理捕獲を実施(4～5月)

- 水産業を核とした地域活性化支援事業を開始

② 林業

○ 第62回全国植樹祭を開催(5月)

○ 全国植樹祭開催を契機に、「和歌山の森林及び樹木を守り育てる条例」を制定(12月)

○ 大消費地への販売促進

- ・ 紀州材・家づくりフェアをイオンモールりんくう泉南で開催(2月、10月)
- ・ 優良紀州材展を東京中央木材市場で開催(3月)
- ・ 国内最大規模の建材関連専門展示会「ジャパンホームショー」に出展(9月)
- ・ 首都圏における紀州材の販路拡大のため、大紀州材祭を開催(10月)

○ 「企業の森」新規調印企業・団体が2あり、計57に (活動地58)

パナソニック(株)エナジー社 紀の川市 4月

三菱商事(株) 田辺市 4月

○ 日本最大級の環境展「エコプロダクト2011」に「企業の森」を出展(12月)

VII 癒しと感動を与える誇れる郷土和歌山

1. 観光の振興

- 「和歌山県観光振興アクションプログラム2011」を策定(4月)

- 紀伊半島大水害からの復興を図るため、「災害復興のための観光振興アクションプログラム」を策定(10月)

- 国内の誘客を図る取組
 - ・ 楽天トラベルとタイアップし「ほんまもん体験付きワクワク宿泊」観光キャンペーンを実施(2~3月)
 - ・ 「わかやま〇旅」ページに「姫旅」がオープンし、7つの〇旅が出揃う(4月)
 - ・ 修学旅行・教育旅行の誘致をより一層推進するため「2011体験・学び・感動の修学旅行セミナー」を開催
東京(2月)、大阪・名古屋(8月)
※ 修学旅行誘致実績 9府県から26校、4,805人
 - ・ 和歌山を全国に発信した功績を讃え、南紀白浜アドベンチャーワールドのパンダに「和歌山県勲侯爵」の称号を授与(7月)
 - ・ 本県出身の岡本玲さんに「わかやまパンダ大使」を委嘱(7月)
 - ・ 観光PRシンボルキャラクター「わかぼん」を決定
 - ・ 県民総参加のおもてなし気運の醸成と誘客促進を図る「和みわかやまおもてなしキャンペーン」を展開(11月)
 - ・ 台風12号被害からの復興に向けて取り組んでいる熊野地域を全国にPRするため、熊野那智大社でコンサートを開催(11月)

- 海外からの誘客を図る取組
 - ・ 現地プロモーション
韓国(1月、5月、8月、9月)、中国(2月、3月、5月、7~11月)、マレーシア・タイ・シンガポール(2月、8月)、フランス・ドイツ(9月)、台湾(11月、12月)、香港(5月、11月)、米国(11月)
 - ・ 南紀白浜空港と仁川空港(韓国)との国際チャーター便を運航(12月)

2. 誇れる郷土づくり

○ 暮らしやすくにぎわいあふれる都市づくり

- ・ 「和歌山県景観条例」を改正し、住民参画による景観づくりを推進するための仕組みを追加(3月)(4月施行)
- ・ 「和歌山県屋外広告物条例」を改正し、規制地域を拡大するとともに、色彩基準などを設定(3月)(10月施行)
- ・ 「建築物の外観の維持保全及び景観支障状態の制限に関する条例」を制定(7月)(平成24年1月施行)
- ・ 商店街のコミュニティ機能強化支援事業実施 計7事業(12月末現在)

○ 愛着の持てる元気な農山漁村づくり

- ・ 「わがまち元気プロジェクト」を展開 10プロジェクト
 - ②① ”真田・紀州九度山”まちづくり(九度山町)
 - ②① ”イノブタ”を核にした新複合産業の創出(すさみ町)
 - ②① ”花のまち御坊”ステップアッププラン(御坊市)
 - ②① ”由良・白崎海岸”観光まちづくり(由良町)
 - ②① ”南紀白浜・川添茶”の振興と白浜観光魅力アップ(白浜町)
 - ②① ”みなべの梅”底上戦略の推進(みなべ町)
 - ②② 湯浅まちなか・にぎわい復興プロジェクト(湯浅町)
 - ②② 古座川版エコツーリズムによる地域産業の創出(古座川町)
 - ②② ”食育のまち紀の川市”農業6次産業化プロジェクト(紀の川市)
 - ②③ 熊野古道 ちかの”平安の郷”プロジェクト(田辺市)
- (注)○数字は、開始年度
- ・ わかやま版「過疎集落支援総合対策」を推進
 - ＜計画決定した生活圏＞
 - ②②シイタケを核とした産業振興で未来につなぐ集落づくり(寒川・日高川町)
 - ②②三川元気夢来プロジェクトで集落元気(三川・田辺市)
 - ②③芸術を核とした住民主役の集落づくり(真国・紀美野町)
 - ②③”露茜”の産地化で始まる新たな集落づくり(清川・みなべ町)
 - ②③交流(ヒト・モノ)から始まる元気集落づくり(佐本、大都河・すさみ町)
- (注)○数字は、開始年度
- ・ 「わかやま田舎暮らしフェア」を大阪で開催(6月)するとともに、「わかやま田舎暮らしセミナー」を大阪(毎月)、名古屋で開催

○ 名所・景勝地の魅力を引き出すために、市町村に対しハード、ソフト面からの支援を行う「名所・景勝地魅力づくり支援制度」を創設

3. 環境・自然の保全

- 電気自動車の普及促進を図るため、公用車として電気自動車を導入(1月)

- 「和歌山県地球温暖化対策実行計画」を策定(3月)

- 「第3次和歌山県環境基本計画」を策定(4月)

- ボランティアで自然公園の情報収集や利用者への助言指導等を行う「和歌山県自然公園指導員」を選任(5月)

- 和歌山節電アクションプランを策定(夏期:6月、冬期:11月)

- 南方熊楠シンポジウムを開催(東京)し、生物多様性の重要性及び熊楠が愛した本県の自然の素晴らしさをPR(10月)

- 日本最大級の環境展「エコプロダクツ2011」に出展し、和歌山県認定リサイクル製品を紹介(12月)

VIII 県民の命と暮らしを守る安全安心和歌山

1. 防災・減災社会の実現

- 東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部を設置し、関西広域連合で定めたカウンターパート方式により岩手県を支援(3月～)
- 東北地方太平洋沖地震を受けて、地震・防災対策総点検専門家会議を設置し、避難場所の見直しなど防災・減災対策の総点検を実施(4月～)
- 地上デジタル放送dボタン(データ放送)を活用して地域密着防災情報の提供を開始(6月)
- 台風12号による紀伊半島大水害に対し、災害対策本部を設置し、迅速に応急対策を実行(9月～)
- 紀伊半島大水害からの本格的な復旧・復興のため復旧・復興本部を設置し、策定した復旧・復興アクションプログラムに基づき、目標をもって対策を実行(11月)
- 湯浅広港の津波防波堤完成(10月)
- 老朽化した4箇所のため池を整備
- 市町村長を対象とした防災危機管理ラボを開催(10月)
- 「津波防災教育指導の手引」を作成し、公立小中学校の全教員に配布(12月)
- 各種団体と防災に関する協定を締結
 - ・ NEXCO西日本と、災害時の応急対策及び復旧業務について、相互協力の協定を締結(7月)

- 「津波防災の日(11月5日)」制定を受けて、「稲むらの火シンポジウム」を開催

2. 暮らしの安全・安心

- 消費者被害の発生・拡大防止のため、消費生活条例を改正(手続迅速化、規制対象拡大)(1月施行)
- 犯罪被害者等早期援助団体として公益社団法人紀の国被害者支援センターを指定(2月)
- 暴力団排除条例を施行(7月)
- 太地町の捕鯨等をめぐるトラブルを防止するため、県警と海上保安庁で合同警備訓練を実施(7月)し、県警察「太地町特別警戒」本部を設置(8月)

Ⅹ にぎわいと交流を支える公共インフラを整備する和歌山

1. 交通ネットワークの充実

○ 道路網の整備

- ・ 国道424号(南部川谷拡幅)供用開始(3月)
- ・ 都市計画道路白浜駅湯崎線(小谷口～浜通り)供用開始(3月)
- ・ 一般県道滝切目停車場線(島田～西ノ地)供用開始(4月)
- ・ 主要地方道高野口野上線(四郷～円明寺)供用開始(4月)
- ・ 阪和自動車道(海南IC～有田IC)4車線化完成(5月)
- ・ 主要地方道高野口野上線(御所)供用開始(8月)
- ・ 一般県道山田岸上線(神野々)供用開始(9月)
- ・ 主要地方道上富田すさみ線(生馬)供用開始(10月)

○ 道路整備推進のための活動

- ・ 国の「高速道路あり方検討有識者委員会」で本県意見を発表(5月)
- ・ 第1次的高速道路ネットワーク形成に向けての提言活動を10県共同で実施(7月、11月)

○ 交通機能の充実

- ・ JR及び南海橋本駅、南海林間田園都市駅のバリアフリー化が完成(3月)
- ・ 知事を団長とした関西国際空港エアポートプロモーションにより、アリタリアーイタリア航空、トルコ航空が増便

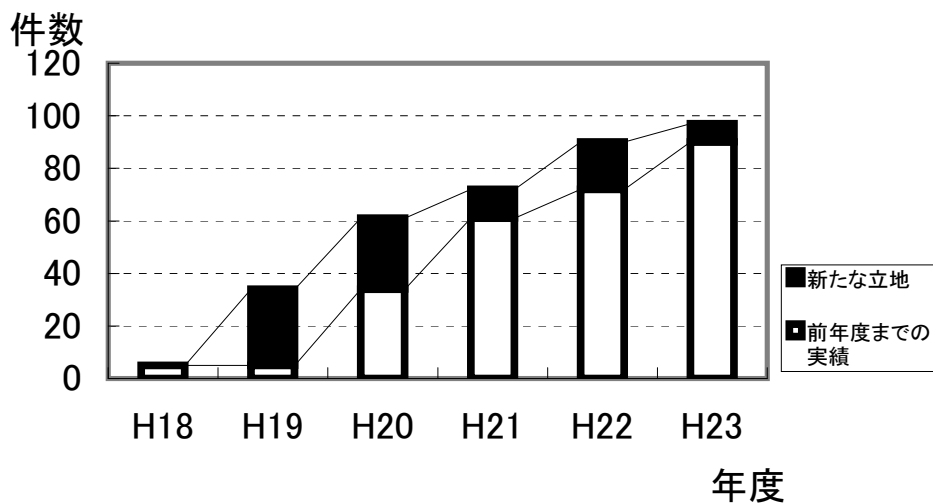
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	(株)松源	和歌山市
2	亀宝倉庫(株)	和歌山市
3	エアウォーター(株)	和歌山市
4	原田織物(株)	橋本市
5	(株)タカショー	海南市
6	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
7	アトラック(株)	橋本市
8	恵和(株)	印南町
9	(株)NMソルト	和歌山市
10	南海化学工業(株)	和歌山市
11	剂盛堂薬品(株)	和歌山市
12	ミナベ化工(株)	みなべ町
13	(株)NTN	上富田町
14	(株)スミロン	日高川町
15	パナソニック(株)エナジー社	紀の川市
16	アイコム(株)	紀の川市
17	本州化学(株)	和歌山市
18	辻岡運輸(株)	和歌山市
19	(株)オークワ	和歌山市
20	住友金属工業(株)	和歌山市
21		和歌山市
22	和興建産(株)	和歌山市
23	太陽食品(株)	和歌山市
24	極東化成工業(株)	岩出市
25	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
26	関戸運輸(株)	和歌山市
27	ビーウィズ(株)	和歌山市
28	(株)ユアブレインズ	和歌山市
29	アドバン工業(株)	和歌山市
30	(有)久保田エンジニア	紀の川市
31	(株)ホタニ	紀の川市
32	大輪産業(株)	橋本市
33	恵和(株)	御坊市
34	(株)アルバック	橋本市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	セイカ(株)	和歌山市
39	(株)マルテン天満屋	日高川町
40	(株)コズミックランド	白浜町

	企業名	立地場所
41	大阪富士工業(株)	和歌山市
42	笠野興産(株)	和歌山市
43	(有)コバタ総合研究所	橋本市
44	田辺金属工業(株)	田辺市
45	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
46	(株)中井鉄工所	橋本市
47	(株)しんこう技研	紀の川市
48	旭精機(株)	橋本市
49	(株)NMソルト	和歌山市
50	木本産業(株)	有田市
51	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
52	太洋工業(株)	和歌山市
53	住友精密工業(株)	和歌山市
54	花王(株)	和歌山市
55	エアウォーター(株)	和歌山市
56	南海化学工業(株)	和歌山市
57	(株)三晃精密	橋本市
58	(株)ふみこ農園	有田市
59	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
60	棒引製材	みなべ町
61	白光印刷	和歌山市
62	林化成(株)	橋本市
63	(株)見果てぬ夢	田辺市
64	大日本除虫菊(株)	海南市
65	共同印刷(株)	有田川町
66	花王(株)※研究施設	和歌山市
67	紀和化学工業(株)	紀の川市
68	三菱電機(株)	和歌山市
69	日建産業(株)	御坊市
70	豊国金属工業(株)	橋本市
71	ミナベ化工(株)	みなべ町
72	(株)ニッコク	岩出市
73	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
74	(株)九重雑賀	紀の川市
75	(株)丸徳水産	和歌山市
76	ハグルマ(株)	紀の川市
77	藤本製薬(株)	御坊市
78	北広ケミカル(株)	橋本市
79	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
80	日進化学(株)	橋本市

	企業名	立地場所
81	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市
82	(有)日本鮎養殖	那智勝浦町
83	(株)串本マリンファーム	串本町
84	南紀串本水産(株)	串本町
85	東京製網(株)	和歌山市
86	川口水産(株)	有田市
87	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
88	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
89	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
90	中紀精機(株)	御坊市
91	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
92	(株)赤井工作所	岩出市
93	(株)ユニカル	橋本市
94	クックスベスト(株)	那智勝浦町
95	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
96	松林金属(株)	橋本市
97	ナイス(株)	和歌山市

近年の立地件数の推移



立地件数	97件
総投資額	3460.14億円
雇用人数	1327人

※雇用については正社員数